

# おじゃまします

## 古文書って？

### 栄町古文書学習会

平成9年に設立した『栄町古文書学習会』とは、栄町に残っていた古文書を1文字ずつみんなでひも解いていく会です。先生は、いなくて皆でわいわい話し合いながら勉強しているそうです。その日は、大鷲神社にお供米をあげた人の名前を解読している所でした。見たときは、何が書いてあるのか全く分かりませんでした。訳を見ても、本当にこの漢字がどうやって分かるのかなと思うばかりでした。私には、訳を見ながらやっても数字しか分かりませんでした。

異体字  
松→杣

異体字とは標準の字体と同じ意味・発音を持つが、表記に差異がある文字のこと。



古文書学習会  
取材中

私は、「どうすれば字が読むことができますか？」と聞いた所、返答は「字に慣れること」と『辞典を使うこと』と話してくれました。1つの文字でも、さまざまな書き方があるみたいです。その他にも、古文書を通して幕内力士桂野勇吉の記事が発見されたそうです。栄町の歴史、事件や活躍していることなど新しい発見を見つけていくそうです。

体験をして、とても難しかったです。でも貴重なことができて良かったです。これからも栄町古文書学習会で新たな歴史を見つけてもらいたいと思います。

取材担当：加瀬【栄中2年】

## ウガンダって知っていますか？

ウガンダは1962年10月9日イギリスから独立した東アフリカの国です。

最初にウガンダの日常食を料理している所に取材に行き、マトケやバナナフライ、コーンマッシュを食べました。マトケという食べ物は青バナナと肉を加えて調理する料理です。食べた事の無い味でした。バナナフライは名前のおりバナナを揚げた料理で、少し甘酸っぱかったです。コーンマッシュという食べ物はコーンの粉と水を混ぜて作った料理です。マトケと一緒に食べると、とても不思議な味でした。

ウガンダの日常食を食べた後、ウガンダについて、茨城県大洗市在住 カトウン・ロバートさんに話を聞きました。ウガンダの人口は3271万人で首都はカンパラです。「アフリカ」と聞くとジャングルのイメージが多いと思いますが、ウガンダにはホテルなどいろんなところがあります。でもお金持ちの人と貧しい人の差が激しく貧しい人は自転車も乗れないそうです。ウガンダは自然が豊かでいい物がたくさんあるのですが、内戦が多いので貧富の差が激しいという話をしてくれました。

今回「ウガンダについて」に参加させてもらって今まで知らなかった事をたくさん知る事ができました！ウガンダ人は陽気な人が多く遊びがないと生きられなかったり、バスは1時間くらい遅れたり、水を運ぶ時 3kg~10kgの水を頭の上に乗せて運ぶなどビックリする事が多かったです。

最初はウガンダについて全く知らなかったのですが少しでも知る事が出来てとても嬉しいです。



ウガンダの  
日常食です♪

ロバートさん  
と記念撮影☆



取材担当：高山【栄中2年】